

2025/10/07

国連人権高等弁務官事務所

カンボジアの人権状況に関する国連特別報告者は、人権理事会 60 会期で提出した[レポート](#)の中で、貧困層に対する社会保護対策などの社会的・経済的な進歩があったにもかかわらず、政敵、環境活動家、人権擁護家が人権を侵害され、嫌がらせ、逮捕、起訴、拘束を受け続けていることに警鐘を鳴らした。カンボジア当局に対し、政敵に対する起訴を取り下げ、拘束されている人びとを解放し、同レポートにある「カンボジア人権行動アジェンダ」の勧告に従い、開かれた市民的・政治的空間を確保するよう求めた。また、反逆的あるいは外国勢力と共謀しているとみなされた者から、カンボジア国籍を剥奪できる新法に懸念を表わした。レポートはさらに、大富豪と権力者の繋がり、環境活動家や先住民族を犯罪者として扱う行為など、環境資源に関連したこれら問題もとりあげている。2025 年 7 月末に合意された停戦協定の効果的な実施の支持を表明し、影響を受けた民間人への支援の必要性を強調した。特別報告者は、「偽情報の拡散を防止、抑止するとともに、対話と相互理解、人道的取組みを通じて緊張を緩和する時が来た」と締めくくった。

【記事全文】[Cambodia: UN expert alarmed by disturbing human rights situation](#)